

# 平成 28 年度 南魚沼郡市学校保健部 活動報告

部長 井口 泉

## 1 研究主題

○児童生徒の『生きる力』を育む学校保健活動の充実を目指して（2年次）  
児童生徒が生涯を通して主体的に健康な生活を送ることができるよう、「生きる力」の育成を目指し、養護教諭の専門性を生かした支援の在り方について研修を行った。

## 2 研究の概要

- (1) 第1回研修会 6月30日（木） 会場：南魚沼市民会館
  - ① 全体研修：県養研研究推進委員会報告
  - ② グループ研修：2年次の取組計画立案  
・生活習慣 ・性教育 ・疾病予防と管理 ・救急処置
- (2) 第2回研修会 8月19日（金） 会場：南魚沼市民会館
  - ①グループ研修：個人研究の報告とグループごとのテーマにせまるための研修
  - ②講演会：講師 長岡市立三島中学校 養護教諭 関矢 睦子 様  
「学校保健活動における養護教諭のコーディネーション」
  - ③中学校校種別研修会（中学部のみ）：保健調査票の評価、修正
- (3) 第3回研修会 11月18日（金） 会場：南魚沼市役所大和庁舎
  - ①講演会：講師 子育て科学アクシス 藤原 一夫 様  
「脳科学を生かした保健室の対応」
  - ②グループ研修：グループごとの中間発表や進捗状況の報告、まとめに向けての協議
- (4) 第4回研修会 2月下旬 会場：南魚沼市図書館
  - ①全体研修：県養研研究推進委員会報告
  - ②グループ研修：グループ内で個人実践の紙面発表
  - ③研修報告：全体発表、実践集製本、研修資料の配付等



## 3 研究の実際

- (1) グループ研修  
グループ研修・研究を2年間継続して行うことで、1年次の振り返りと改善ができ、2年次の取組に生かすことができた。1年次と2年次の成果を比較することで、取組の有用性や効果について考察を深めることができた。3年勤務で異動する会員が多い地区であることや中学校の統合に配慮し、中学校区を基本としたグループで活動した。テーマや取組の一貫性が保たれ、継続した研修・研究を行うために有効であった。
- (2) 講演会  
8月の講演会では、全県研究のテーマに沿った「学校保健活動における養護教諭のコーディネーション」について学んだ。現役養護教諭の実際の取組を学び、日頃の職務との関連、学校全体を動かす際の留意点や工夫等に関する理解を深めた。11月の講演会では、脳の成長・発達と生活習慣の関係、問題行動や不適応を起こしていた児童生徒との関わり方等について学んだ。生活習慣と脳の成長・発達の関連について深く理解でき生活習慣の重要性を再認識することができた。両講演会共に学ぶことが多く、日々の取組や各自の今後に生かすことのできる内容であった。

## 4 反省と課題

2年間継続し中学校区毎のグループで研修・研究に取り組んできた。小中連携が密に行えるなど利点が多かった。テーマの偏りや取組のマンネリ化を防ぐため、他グループ、他市の取組の情報提供を行い、多様な研修・研究テーマが設定できるよう働きかけた。小中連携と共に、校種ごとの情報交換の機会を設定し校種間のつながりを強めることが課題である。郡市内の児童生徒の健康課題や会員のニーズに沿った研修、見通しのもてる計画・準備に努め、学校保健活動の充実と会員個々の資質向上を目指していく。